

# 視聴覚教育

NO. 470

発行日

R4.1.7

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

## これ知ってる!?

### コミュニケーションロボット

一緒にいることで人に楽しさや癒しなどを与えるように設計された人工知能を備えたロボット。顔を認識し、あいさつをするものもある。スケジュールの管理などでもでき、実際に高齢者福祉施設などで活用されている。

## オンライン授業と指導員訪問で見えた希望

学習情報指導員 太田尚志

やつとのこととで通知表を完成し、ほつと駐車場から夜空を見ると、西にやや赤みを帯びた光の筋が伸びた。大粒の「火球」も見られ、一時話題となった今年度のふたご座流星群。「流星が降るたび命が生まれる」は、何の歌詞だったか。流星の輝きには、不思議と「希望」を感じる。

九月初めの指導員訪問は、分散登校期間中に行われた。Zoomや教室PCを使って、対面とオンラインが同時に進行するが、全員が登校しているときと同じように、先生も子供も安心して授業に取り組んでいるように見えた。中でも目を引いたのはリコーダーの授業。iPadのカメラ機能で教師の手元を映すと、その映像がオンラインへ配信されるだけでなく、教室の大型ディスプレイにも投影され、子供全員に指の動きが伝わりやすくなっていった。このように対面とオンライン同時に行う、いわゆる「ハイフレックス型」の授業に岡崎市のほとんどの小中学校が大きな問題もなく取り組めたことは、全国的に見ても稀有な実績であることは御存じだろうか。先生方の「オンラインでも子供を取り残さない」

という熱意と、意欲的で切実感のある研修が、コロナ禍にあつて、子供に希望を抱かせる一筋の光となつていると感じられた。

ICTを上手に使うと、学習活動が活発になつて子供の目が輝く。中学三年外国語科の実践においては、グループでのプレゼンテーションを子供同士が相互に評価する際に、iPadが使用された。アドバイスをiPadや付箋で瞬間的に共有し、撮影した発表の様子と合わせて見ることとで、子供は仲間の指摘に納得して、発表の仕方を改善することができた。小学五年理科の実践においては、振り子の実験結果と考察がスクリーンタクトで共有された。調べた条件ごとにノートが色分けされていたので、子供は「自分たちと同じ(違う)条件で調べたグループの考えを見たい」と意図をもって他のグループの書き込みを見ることができた。ICTは、これまで時間がかかつたり、一方的になつたりしていたことを解消する、よい手段となり得る。

先生方の挑戦の一つが、子供に「面白そう」「これならできる」と、希望を抱かせる師走の夜の流星のよう。たくさんの挑戦が集まつてできる流星たちに、未来の輝きを感じた。

## II 視聴覚教育あれこれ II

### ● 自作視聴覚教材の活用を

今年度も「おかざき映像教材研究会」による教材制作が進められています。今年度は、四班集体で取り組んでおり、理科教材を一本、社会科教材を二本、道徳科教材を一本、制作しています。

コロナ禍で例年通りの社会見学が行えなかった学校もあると聞きます。社会科の映像教材を活用することで、見学に行かなくても現地の様子を知ることができたり、携わる人々のインタビュー等を聞くことができたりします。理科では実験が難しい内容や、視覚的に見ることが困難なものを映像で補うことができます。道徳教材の制作は、新たな試みですが、映像がもつ情意に訴えかける力は大きいと考えています。

二月の学習情報主任会において、全教材を収録したDVDを配付する予定です。これまでに配付した教材も含め、積極的な御活用を願います。

### 作品の題名

A班「岡崎の川で宝探し〜密度の差を利用して〜」

B班「おかざき匠の会

〜伝統を引き継ぐ新しいつながり〜

C班「矢師の挑戦」

D班「SNSがつなぐ岡崎市と人々

〜ことばのもつ力って何?〜

### ～作品の紹介～



B班「おかざき匠の会」



D班「SNSがつなぐ」

## 実践報告 II

### 小学二年生国語科「ビーバーの大作」

常磐南小学校 矢藤 大基

言葉から動作を想像する力を児童が身に付けられるよう、言葉と動作が関連する「どうぶつクイズづくり」を単元「ビーバーの大作」で行った。はじめは、プログラミング学習モデルカリキュラムに則り、ピクチャーキッズで作成をしていたが、「問題や答えが動いたらおもしろい」「絵も動かしたい」などの意見が出たので、キューブきつず(プレゼン)を使って絵に動きがあるクイズを作成することにした。初めての作業ではあったものの、児童のやる気は十分で、すぐに使い方を覚え、分らないところは教え合いながら作業を進めた。

出来上がったクイズを使って



「クイズ大会」を行ったところ、「もつと色々な動きがあると面白い」という意見が出た。そこで、より多彩な動きが可能なパワーポイントで「どうぶつクイズ2」を作成した。やれることが増える、「やりたい」という気持ちが出て、動物から離れた動きをつけてしまう児童が出た。そこで、動きをつける意味や意義を確認しながら進めていくと、「鳥だから斜め上から」「カタツムリはゆっくり」など、動物の姿を想像し、形容する言葉にあった動きを考えることができた。プログラミング学習が教科の学びと繋がったと感じた。児童の思考に添うことで学習が楽しくなり、言葉から動作を想像する力を高めることができた。

## レッツ・トライ！ ICT II

### 今回紹介する ICT

iMovie

感染症の予防対策のために、児童が取り組む昼の放送をリアルタイムで行うことが休止となった。そこで、iPadのアプリ「iMovie」で動画を制作し、昼の放送として流すことにした。

まず、見本の動画を提示し、編集方法について説明した。児童は、動画の撮影の仕方、撮影した動画や写真の取り込み方、音声の入れ方、テキストの入れ方など、動画を編集するために必要な技術を学習した。積極的にタブレットを操作し、友達と協力しながら楽しんで動画を制作することができた。

完成した動画を、制作したグループで視聴すると、「映像の切り替わりが早すぎる」「テキストを入れた方が、内容が伝わりやすい」「小さな音でBGMを入れた方がいい」などの改善案がいくつも出てきた。児童は、昼の放送を見る人の立場になって、内容が伝わるように動画を編集することができた。実際に昼の放送で動画を流し、学級の友達に楽しんでもらえたことで、達成感を得ることができた。



今回の実践を通して、児童は iMovie の基本操作を習得し、動画を編集することができるようになった。身に付けた動画編集の技術を各クラスで広め、授業の発表やスピーチの場面で活用できるようにしていきたいと思う。

(藤川小学校 中根 聡)

## ライブラリーだより

### ●教材・機材貸出の御案内

視聴覚ライブラリー教材・機材の利用は、曜日・時間に関係なく予約できるネット申込がお勧めです。O Kリンクから検索「視聴覚ライブラリー」で視聴覚ライブラリーHPを開き、予約システムにログインしてください(詳細は各校に配布の『視聴覚教材目録』や学習情報部HPに掲載されている教材等予約システム利用者マニュアルを参照)。IDとパスワードが分からない時は、学習情報主任を通してライブラリーまで御相談ください(電話予約可能)。

貸出期間は貸出日を含めて七日以内(七日目が休館日の場合は休館日以降最初の開館日まで)、貸出日二か月前から予約可能です。教材は、巡回郵便での送付ができます。利用する場合は「利用目的」欄に「巡回郵便希望」と入力してください。返却時は宛先を「視聴覚ライブラリー」として送ってください。

【機材予約はお早めに】  
毎年二月末から三月中旬にかけて学校行事関係での申込が多くなりますが、一般の利用も多い時期であり、かなり混み合います。主に、プロジェクトとデュープリケーター、近年はビデオカメラの希望が多いので、それぞれ早めの予約をお願いいたします。

連絡先 電話二三一六七八九

